

顛 末 書

名 称	第 7 回 お出かけ市長室～市長と語ろう！まちづくり意見交換会～
日 時	令和 6 年 9 月 25 日（水） 11：00～12：05
会 場	中央公民館 1 階 106 会議室
出席者等	・中野市長 湯本 隆英 ・一般参加者 6 名 ・事務局：3 名 計 10 名
次第	1 開 会 2 第 3 次中野市総合計画・前期基本計画の策定に向けて 3 市長講演 4 意見交換 5 その他 6 閉 会
発言内容	別添のとおり

会 議 状 況

Q DeNA の牧選手が活躍している。活躍している間に中野市でバス複数台による観戦ツアーを実施したらどうか。(以前、相撲を見に行った際、御嶽海の応援に出身の町から観戦ツアーが来ていた。飯山高校の甲子園出場の時も大勢のツアーがあった。)

A 後援会で年に数回言っていると聞いている。チケットをとれるかという問題もあるが、後援会には伝えたい。

Q 図書館のリニューアルにより、見えている蔵書が減ったような気がする。

A 配置の関係で減ったように見えているのだと思う。減らさないという前提でリニューアルをしている。バックヤードも見られるような検討もしていきたい。

Q 熊が出没している。草が伸びている休耕地も多くなっており、熊が隠れる場所も増えている。児童生徒にも危害が及び可能性があることから、教育委員会に電話したことがあるが返答がない。

A 熊が出没すると、まず農業振興課が対応し、屋外放送による注意喚起のほか、保育課や学校教育課にも情報共有している。返答の対応については、注意させる。

Q 図書館に蚊が多い。なんとかできないものか。

A 検討する。

Q 石川県で災害が起きている。中野市としてボランティアの募集や市の対応はどうなっているのか。

A 災害が起きると、近年は、被災地において受入体制ができない支援は受けていない。被災地が必要とする支援の情報が来たら対応することとなっている。ほとんどの場合、県を通して支援依頼が来て対応することになっている。

Q 周辺市町村で様々なイベントが行われているが、情報が伝わっていない。連携やPRができていれば、もっと良くなると思う。

A 連携等を積極的にするよう、担当課に指示する。

Q 市内にはきのこ工場が多くある。億円単位の借金を抱えながら経営しているとも聞いている。倒産等したら市の財政にどのような影響があるのか心配している。

A 民間であり、固定資産税や住民税など間接的な減収はあっても、市には直接影響がない。

Q シルバーいきいき応援券の1人当たり5,000円では足りない。

A 公共交通だけでなく、温泉施設、運動施設、理容院・美容院でも利用できるように利用範囲を拡大してきている。金額については全体の施策を見ながら研究したい。

Q 高齢者施策への取組も進めてほしい。

A 高齢者施策もいろいろと実施しているが、PRもしていきたい。高齢者施策として望むものとしての意見も頂ければ検討していきたい。

Q 防災行政無線が聞こえづらい。

A 屋内放送設備や電子メールサービスで保管してきている。屋内放送設備に代わるスマートフォンなどに情報発信できるシステムを構築中である。電子メールサービスの登録については、個別に相談させていただくこともできる。

Q お出かけ市長室にきてよかった。もっと開催してほしい。

A 声をかけていただければ、日程調整して、実施していきたい。